

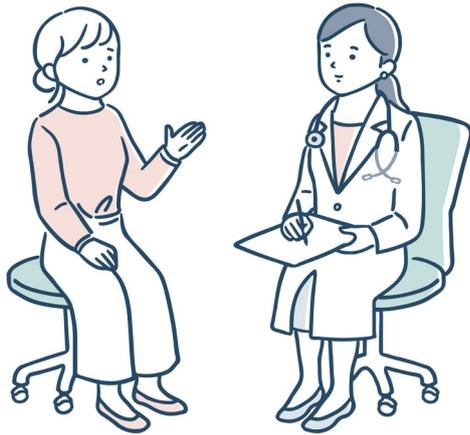
がんと薬物療法 ～腫瘍内科とは～



PLAZA IMS

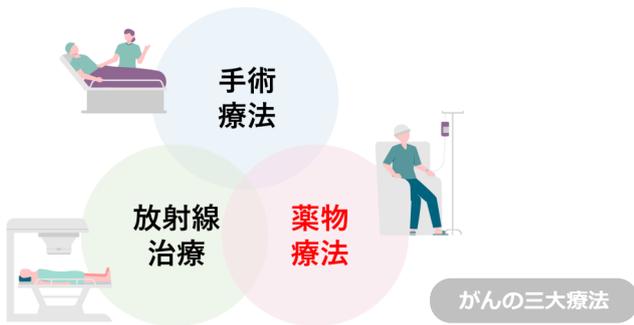
Vol.44
2024 Spring





腫瘍内科 長谷川 依子

がん薬物療法とは



がん薬物療法は、抗がん剤やホルモン剤などの薬を用いて、がんの治療を行う方法です。70年ほど前から行われている「細胞障害性抗がん剤」に加え、20年ほど前から「分子標的薬」、7～8年前からは「免疫療法」など、新しい治療法も次々と開発されています。テレビなどで見る抗がん剤治療は、嘔吐が止まらなかつたりひどくやせこけて顔色が悪くなってしまうたりと、とてもつらく苦しい治療のイメージがもたれがちです。しかし、副作用が起りにくくする治療も開発され進歩しており、患者さんの負担軽減に大きく貢献しています。

また、がん薬物療法は目的によって手術や放射線治療と組み合わせることもあります。例えば、手術の前後に、再発予防のために薬物療法を行う術前補助療法、放射線治療の効果を高めるために、同時に薬物療法を行う化学放射線療法があります。進行がんに対する薬物療法は、腫瘍の縮小や症状の緩和、延命などを目的に行います。

資格・所属学会

日本内科学会総合内科専門医
日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医、指導医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
日本緩和医療学会認定医
日本泌尿器腫瘍学会会員

腫瘍内科について

腫瘍内科は、薬物療法を中心としたがん治療を行う科です。多様化するがん治療において、薬物療法の専門的な知識を備えた科が必要となったことから生まれました。日本では高齢化に伴い心身の状態や社会背景によって様々ながん患者さんが増加しており、一人ひとりに合った治療の選択が求められています。「がん薬物療法専門医」は現在全国で1700名弱しかおらず、まだまだ必要とする患者さんの数に追いつけていません。

当院腫瘍内科では、血液がん以外の固形がん全般の診療を担当しています。血液がんとは、白血病や悪性リンパ腫などの疾患です。

腫瘍内科医は一人一人の患者さんにとって
最適な治療戦略を考えます



●多様なステージに対応●

早期から進行期まで、抗がん剤治療を必要とするあらゆるステージのがんに対応します。

●横断的な診療●

患者さんの状態や希望に合わせて、外科や放射線治療科など他の科と連携しながら治療を行います。

●個別化医療●

患者さんの年齢、体力、病状、遺伝子情報などを考慮し、最適な治療法を選択します。例えば、抗がん剤によって腫瘍を縮小させてから手術で切除する戦略をたてること、手術後に補助療法を行うかどうかを再発リスクによって決定すること等です。

●患者さん中心の医療●

患者さんの生活背景や考え方も十分に聴取し、治療に反映させます。患者さんの希望を尊重し、最後まで寄り添います。

●緩和ケアも提供●

抗がん剤投与だけでなく、がん自体や治療副作用による症状の緩和ケアも積極的に提供します。



腫瘍内科で行われる具体的な診療・治療

①患者さんの診察

患者さんの症状や病状を詳しく聞き取り、検査結果と合わせて総合的に判断します。

②化学療法

抗がん剤などの薬剤を投与します。投与中や投与後しばらくしてから生じる副作用の予防や早期対応方法の説明も行います。

⑤院内・院外からの カンサーボード開催支援

患者さん一人ひとりに最適な治療法を検討するために、医師や看護師、薬剤師などの専門家によるカンファレンス（カンサーボード）を開催します。

腫瘍内科

③化学療法室の支援

化学療法室のスタッフと連携して、安全で効果的な化学療法を提供します。

④院内勉強会

最新のがん治療に関する勉強会を開催し、医療従事者の知識向上に努めます。



PLAZA IMSをご覧の皆さまへ メッセージをお願いします

進行がんは、一部の場合を除いて完治することは難しい病気です。しかし、現在では多くの固形がんで、ステージ4イコール「終わり」ではなくなっています。抗がん剤という「つらい」というイメージがありますが、適切な対応をすることで、進行がんを持ちながら、仕事をしたり家族の世話をしたりしている方はたくさんいます。腫瘍内科では、進行がん患者さんが「この先、生きていくための治療」を受けるとらえており、がん治療のために生きるのではなく、患者さんがどう過ごしたいのかを最優先にしています。最新の研究結果などエビデンスに基づいた標準治療はもちろん行っていますが、患者さんによっては個別に調整を要することもあります。患者さんやご家族とよく話し合うことで考え方や希望を共有し、今できることをして、したいことをできるよう、たくさんの治療方法のどれがその方にとって最適かを考えます。腫瘍内科医は、抗がん剤など治療の医学的知識と、個々の患者さんの体の状態や考え方を統合して、方針を決定していく存在です。



長谷川 依子 (はせがわ よりこ) 腫瘍内科

筑波大学を卒業後、初期研修を経て腫瘍内科専門研修プログラムを修了。
2023年より当院で勤務。

病院ニュース

アルツハイマー型認知症治療薬

レカネマブ（レケンビ®点滴静注）の投与開始

2023年12月20日に保険適用となり、販売が開始された新薬で、アルツハイマー型認知症の原因物質であるアミロイドβを脳から除去することで、認知機能障害の進行を遅らせることができます。投与にあたっては、アミロイドβの蓄積状況を調べるアミロイドPET/CT検査もしくは脳脊髄液検査が必要ですが、どちらの検査も当院で対応可能です。レカネマブ（レケンビ®点滴静注）による治療を希望される方は、脳神経内科の戸田 晋央医師もしくは紺谷 智医師の外来をご受診ください。



婦人科診療開始！

2024年4月3日(水)より、婦人科の診療を開始いたしました。当院の婦人科では、手術を中心とした診療を行います。ただ手術はなるべく避けたいというのが本音だと思いますので、手術に関してはそのメリット・デメリットも含めてご説明し、患者さんと良く相談をして治療方針を決めさせていただきます。

外来担当医表

※完全予約制

	月	火	水	木	金	土
午前	-	-	中西 一步	杉田 匡聡	中西 一步	-
午後	-	-	杉田 匡聡	中西 一步	杉田 匡聡	

【診療時間】 午前 9：00～11：30

午後 14：00～15：30

Let's Enjoy!!活き生きリズム体操

理学療法士がサザエさんの音楽に合わせた体操をご紹介します。運動習慣を身に付け、楽しく健康的な毎日を送りましょう♪



▲こちらのQRより動画をご覧ください

対象疾患

婦人科悪性腫瘍：子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がん
婦人科良性疾患：子宮筋腫、子宮腺筋症、子宮脱、
卵巣腫瘍・嚢腫、子宮内膜症

ホームページ・各種SNSより情報発信中



病院
ホームページ



LINE公式
アカウント



Facebook



YouTube
公式アカウント

▲上記QRコードからアクセス▲

病院受診、入院・介護施設選びに困ったら イムス総合サービスセンター(GSセンター)へ

好評配信中
疾患別セルフチェック

健康セルフチェック



0800-800-1632

※「050」からしるIP電話および国際電話からはご利用いただけません。
受付時間 / 平日 8:30～17:30 土曜日 8:30～12:30(日祝・年末年始休み)

gscenter@ims.gr.jp

◎右のQRコードをご利用いただくとう便利です。
◎24時間365日受付。2営業日以内にご返信します。



イムス総合サービスセンター
http://www.ims.gr.jp/gscenter/

受付時間

午前 7：30～ 午後 12：00～

※受付終了時間は診療科によって異なります。

詳細については外来診療担当医表をご確認ください。

診療開始時間

午前 9：00～ 午後 14：00～

交通アクセス

JR常磐線/武蔵野線 新松戸駅より 徒歩3分

流鉄流山線 幸谷駅より 徒歩3分

駐車場あり

診療科目

内科 呼吸器内科 消化器・肝臓内科 循環器内科 血液内科 脳神経内科

感染症内科 外科 心臓血管外科 大腸肛門外科 呼吸器外科 整形外科

脳神経外科 形成外科 小児科 皮膚科 泌尿器科 眼科 耳鼻咽喉科

放射線診断科 放射線治療科 病理診断科 救急科 麻酔科 小児外科

腎臓高血圧内科 糖尿病・内分泌代謝内科 リウマチ科 リハビリテーション科

精神科 腫瘍内科 婦人科

専門センター

消化器病センター 呼吸器病センター 心臓血管センター 血液浄化センター

新松戸高精度放射線治療センター



IMS(イムス)グループ医療法人財団明理会

新松戸中央総合病院

〒270-0034 千葉県松戸市新松戸1-380

☎047-345-1111(代)